

平成12年(2000年)1月20日(木曜日)

日本に東西文明和合の使命

新世紀を考える有識者の集い

大塚克己会長が新春講演

世界平和連合

「新世紀を考える新春有識者の集い」(主催・同世話人会)が十九日、大塚克己・世界平和連合会長を講師に迎えて、都内のホテルで開かれ、与野党の国会議員のほか、学術、言論、宗教、経済など各界から約二百五十人が集まった。

ビデオ上映のあと、世話人会を代表して入江通雅・青山学院大学名誉教授は、「人類は現在、環境・人口

問題などスケールの大きな難問に直面している。一方で、それらを克服できる英知と技術も手に入りつつある」と分析。「問題は、人間が(英知・技術を)どう使うかにかかっている」と述べ、世界平和連合の活動に対し期待を表明した。

来賓を代表し、与野党幹部があいさつしたあと、会食をはさんで、大塚会長が、「新世紀を考える」と

題し記念講演を行った。

はじめに大塚会長は、古代エジプトから出発した文明が、欧米を通過し、現在では日本を舞台に花開いていることに言及。「日本は東西文明の和合の中心」と位置づけ、新しい世紀において、西洋と東洋のかけ橋となる使命があるとした。

米国での行き過ぎた女性解放運動が、伝統的性倫理の喪失を招き、家庭崩壊に

つながったことを指摘。それを解決するために、「陰陽思想に基づく東洋的・日本的和合の精神が必要であり、神の父母性を説明する

頭脳思想が新しい地平を開く」と語った。さらに、「女性が先頭に立つ時代が到来した」として女性の役割を強調、国際

的にも女性的な和合を得意とする日本が、世界に貢献していく必要性を訴えた。

また大塚会長は、共産主義は日本から復活することを警告。共産党に対する警戒心がなくなった日本に、「新勝共運動を起して警鐘をならしていく」と決意を述べた。

新世紀においては、「地球星故郷化時代」という意識を持つことが重要としたうえで、韓国でも注目されている日韓トンネル建設を中心とする国際ハイウェイ・プロジェクトを推進することを表明した。

「新世紀を考える」と題して、講演する大塚克己・世界平和連合会長11月19日夜、東京・千代田区のホテルで



新世紀を考える新春有識者の集い
平成12年1月19日 主催：新世紀を考える有識者の集い世話人会 於：ダイヤモンドホテル